

2材型エポキシPCM

スカイレジン エポフィラー

これが、水系エポキシPCMの新しい形です。
(ポリマーセメントモルタル)
 溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です!

特長

- ①耐溶剤性に優れているため、ウレタン、FRP等の溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です。
- ②2材型(1粉/1液)のため、使いやすく、調合が簡単です。
- ③主材(粉材)は湿潤感を帯びているため、混合時に粉塵が発生しにくい材料です。
- ④強度発現が速く、翌日には次工程に移ることが可能です。
- ⑤エポキシ系のポリマーセメントモルタルのため、優れた接着性を有し、改修工事に最適です。
- ⑥水系材料のため施工器具の水洗浄が可能です。

用途

- ①コンクリート面の下地調整。
- ②ウレタン防水、FRP防水など溶剤系防水材の下地調整。
- ③その他防水材及び一般の溶剤・無溶剤塗料の下地調整。
- ④タイル、大理石、ALC板、ケイカル板など各種材質の下地調整。

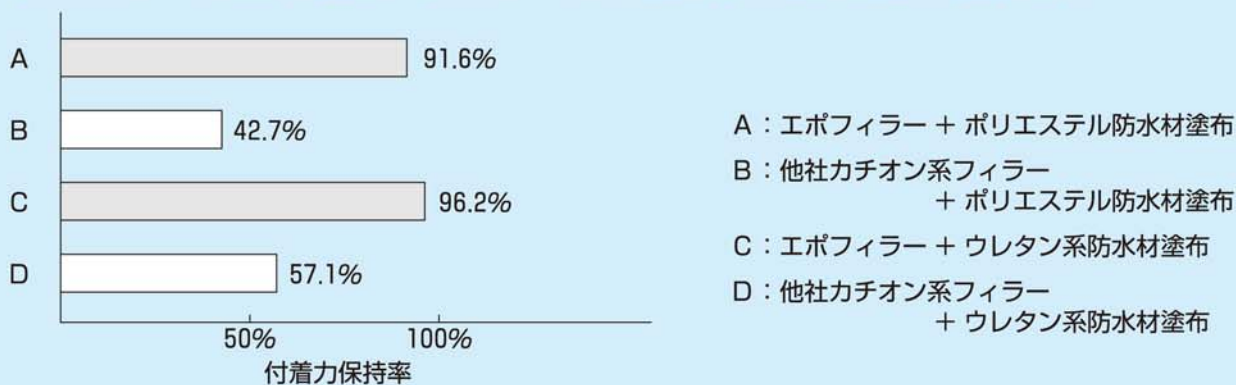
施工要領

- ①金鏝及びゴム鏝により所定厚を塗布してください。
- ②標準塗布は、0.5~2mm厚の範囲です。

溶剤性材料の付着強さ

PC板(300×300×30mm)上に下記の各材料を標準施工方法に従って塗布し試験体を作製する。その後20°C65%RH環境において養生を行い、材齢7日後における付着強さを建研式接着力試験器によって測定した。

●エポフィラー単体及び、他社カチオンフィラー単体の付着力を100とした場合の付着力保持率



各下地との付着性

各種下地にスカイレジン エポフィラーを4kg/m²塗布し23°C50%RH環境において2週間硬化養生を行った後、付着強さをJISA6916に準拠した方法にて測定した。

下地材料	モルタル	コンクリート	ウレタン防水材 (つや無し)	大理石	ALC板	ケイカル板
2週後(N/mm ²)	3.5	2.5	1.0	2.1	0.5	0.5
判定	◎	◎	○	◎	◎	◎
破壊状態	基材破壊	基材破壊	界面剥離	材料破壊	基材破壊	基材破壊

※◎…付着力も十分で使用に最適、 ○…使用可能
 ※その他の下地については、別途資料参照のこと。

2材型エポキシPCM

スカイレジン エポフィラー

一般性状

材 料 名	スカイレジン エポフィラー 主 材	スカイレジン エポフィラー 硬化剤
外観性状	灰色の湿潤感のある 粉体	僅かに黄色味を帯び た白色乳化液
標準配合	17.5kg	5kg

塗工量	標 準	約1kg/m ² ~4kg/m ² : (0.5~2mm厚)
	最 大	約6kg/m ² : (3mm厚)
可使時間		約2時間 (23℃)
単位容積質量		1.95kg/ℓ
フロー値		約240mm
塗工間隔		5℃: 約24時間以上
		20℃: 約 8時間以上
		35℃: 約 4時間以上

性 能 / JIS A 6916 (2000) C-2項目についての性能

特 性 項 目	単 位	特性値	JIS A 6916 C-2 規格値
軟度変化率	%	2	-20~20
耐ひび割れ性	-	合 格	ひび割れが発生しないこと
耐 衝 撃 性	-	合 格	ひび割れ、はがれがないこと
付着強さ	標準養生	N/mm ² [kgf/cm ²]	1.8 [18.4]
	低温養生		1.7 [17.3]
吸 水 量		g	0.5
耐 久 性	外 観	-	合 格
	付着強さ	N/mm ² [kgf/cm ²]	1.9 [19.4]
			割れ、膨れ及びはがれがなく、付着強さが1.0 [10.2] 以上であること

*当表記載の数値は、JIS A 6916 (2000) 建築用下地調整塗材 セメント系下地調整材 2種 (下地調整材 C-2) の試験方法に基づき、財団法人 日本塗料検査協会 西支部にて実施した試験結果です。

規格外項目

特 性 項 目	単 位	特性値	試験方法
圧 縮 強 さ	N/mm ²	57.3	JIS A 6916 CM-2
曲 げ 強 さ	N/mm ²	12.7	

使用上の注意

- ①標準配合の通りご使用ください。
- ②調合した材料は1回毎に使いきり、追加調合は避けてください。
添加水 (水道水) を入れる場合は5%以内でご使用ください。水道水以外の溶剤や既定量以上の水道水を添加しますと物性を低下させます。

包装形態及び包装単位

品 名	NET	形 態
スカイレジンエポフィラー 主 材 (粉体)	17.5kg	プラスチックフィルムを積層したプラスチッククロス袋入
スカイレジンエポフィラー 硬化剤 (液材)	5kg	プラスチック容器入り



独創の技術が明日を拓く

大日化成株式会社

本 社：☎571-0030 大阪府門真市末広町8番13号
TEL (06) 6909-6755(代) FAX (06) 6909-6702
東京支店：☎105-0013 東京都港区浜松町1丁目2番5号
TEL (03) 3436-3801(代) FAX (03) 3436-3803
岡山工場：☎709-4312 岡山県勝田郡勝央町黒土115-1
TEL (0868) 38-5151(代) FAX (0868) 38-3745
ホームページアドレス <http://www.dainichikasei.co.jp/>

代理店